令和8年度　学校評価自己評価表

北広島町立芸北小学校

ミッション	社会の中で自律して生きる力を有した子供を育てる
学校経営基本方針	すべての子どもたちに健やかで安全な学びの場を提供し、一人ひとりの力を最大限に引き出す教育を実現する。
学校教育目標	めざす自分をえがき　自らよりよく生きようとする児童の育成
めざす子ども像	○自分で考え 挑戦する子　○互いを大切にし 力を合わせる子　○楽しさを作り出す子
めざす教職員像	○児童の思いを受け止め、意欲を引き出す教職員　○使命を自覚し、自らを高めていく教職員　○良さを認め合い、協働して進む教職員
研究主題	自分の考えをもち、表現できる児童の育成　～　算数科におけるノート指導の充実と話型を通して　～

。	目標		実践		評価基準　4・・・100%～　3・・・80～99%　2・・60～79%　1・・・60%未満						評価基準　A・・・適正　B・・・　不適正　C・・・評価できない		
					a目標値（中間）	目標値（最終）	b今回の達成割合	目標に対する割合b/a	評価	成果と課題の分析	改善の方向性	学校運営協議会	
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価方法								評価	コメント
健やかな心と体	心身の健康をめざし、自ら鍛え整える力をつける。	①体力・運動能力向上	①芸小元気っ子ファイルを活用し、個人の目標を立てて取り組む意識づけを行う。	①自分で立てた目標に対して進んで取り組むことができたと答える児童の割合	70%	80%							
			②業間運動（サスケタイム）を充実させたり、外遊びを奨励したりする。（火曜日：5分間走、木曜日：全校レクなど、雨天時は縄跳び）	②50メートル走の記録が伸びた児童の割合（5月→9月→11月）	70%	80%							
		②自らの健康を整える力の定着	①メディアコントロールチャレンジを年に2回行い、児童ごとに適切な目標が立てられるようにいくつかのコースを設定して取り組む。	①「生活リズムを整えメディアコントロールチャレンジ」の取組期間で決めたコースが5日間守れた児童の割合	80%	80%							
		③安心安全に気を付けて生活しようとする意識の涵養	②安全集会（年2回）を行ったり、安全点検（学期に1回）を各学級で行ったりするなど、児童の安全意識を高める。	②安全行動に関するアンケート（児童・職員）における肯定的評価の割合	90%	90%							
豊かな心	他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性を育てる。	多様な他者と協働し、よりよい人間関係を紡いでいこうとする力の向上	○朝の会などを使って、学級ごとにエンカウンターやショートエクササイズなどに取り組み、互いに安心して関わり合える学級づくりを行う。	○他者と積極的にかかわり会いながら課題解決に当たろうとする児童の割合（児童アンケート）	70%	80%							
			○当番や係活動、掃除や委員会活動で、振り返りを充実させ、教師や児童が肯定的な評価をする機会を設定し、行動の価値づけを行う。	○学級・学校集団生活をよりよくしていくために、自分のできることに取り組んでいる児童の割合（児童アンケート）	70%	70%							
確かな学力	知識及び技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力並びに主体的に学習に取り組む力を育成する。	①基礎学力の定着	①CRT結果などから子供たちの実態を把握し、単元末やパワーアップの時間等に個や学級の課題に合わせた補充学習をする。	③算数科の単元末アンケート（知識・技能、思考・判断・表現の合計）の**平均80点**以上の児童の割合 ①算数が好き、分かると回答した児童の割合が70%以上	75%	80%							
		②自分の考えを表現できる力の育成	②単元のゴールを明確にし、児童が考えたくなるような課題設定をする。 ②使わせたい算数用語や話型を学級全体で共有や価値づけをし、ノートづくりや対話の場を充実させる。	②算数科において、比較・関連付けながら自分の考えを表現することができる児童の割合（※ルーブリック作成→アンケート）	70%	80%							
信頼される学校	地域に開かれ、保護者から信頼される学校づくりを推進する。 安心安全な教育環境の整備・保持に努める。	①地域・保護者とのつながりを深める	①積極的な情報公開に努める。 ・学校だより、学級通信の充実 ・HPやテトルを使った情報公開 ・積極的な授業公開（授業参観、学校運営協議会、民生児童委員訪問等）	①保護者アンケート（学校の取組・教職員の姿勢）における肯定的評価（80%以上）の割合	85%	85%							
		②働き方改革の推進	②校内体制を充実させる。 ・校内各委員会の計画的な実施 ・部会や担任会等の時間の確保 ・放課後の時間意識の向上 ・職員同士助け合える職場づくり	②教職員アンケート（やりがい・充実感・児童と向き合う時間・率直に言い合える）における肯定的評価の割合	80%	80%							